

1日目

[Session1] Plenary

- 開会挨拶において、日本政府を代表して、古川国土交通副大臣より、APECのこれまでの活動を踏まえて「質の高いインフラ」の重要性と、「持続可能な地球のために、気候変動、異常気象、自然災害を含むあらゆる環境課題に包括的に取り組むための世界的な取り組みを支援する経済政策、協力、成長を促進する」という「アオテアロア行動計画」に則り、本会議がAPEC加盟都市における気候変動への強靱性向上を目指す質の高いインフラ投資に関する議論を推進し、インフラ整備・政策立案担当者の能力構築に貢献することを目指すものであることを示されました。

また、議長からの挨拶として、天河国土交通審議官より、共通の気候変動関連課題や潜在的な脅威に直面しているAPEC加盟国・地域が、これらの課題への対応において、本会議で他の加盟国・地域からベストプラクティスを得られることを期待すると示されました。



〈古川国土交通副大臣〉



〈天河国土交通審議官〉

- 基調講演において、国土交通省小笠原海外プロジェクト審議官より、日本政府としての「質の高いインフラ」への取り組みや、「適応策と緩和策を取り入れた気候変動に強い都市づくりの推進」をテーマに、都市防災としての適応先（「流域治水」「防災都市づくり」）、緩和策（「グリーンインフラ」他）、海外での取組（「フィリピンでの治水事業」他）等の事例を紹介されました。続いてKIM氏（Head of Integrated Road Management Research Center, Korea）より、地滑りに対する対策や管理体制強化策の取り組みが示されました。石垣本部長（国連ハビタット福岡本部）からは、「住環境の改善と災害対策」に関し、土地や建築物だけではなく、人やコミュニティそのものの強靱化、スキルアップも含めた取り組みについて紹介されました。NUNEZ氏（Practice Manager Urban, Resilience, and Land Global Department, World Bank）からは、「質の高いインフラ」を推進するために必要と予測される予算や、それを無理なく調達するための方策が示されました。



〈国土交通省小笠原海外プロジェクト審議官〉



〈KIM氏〉



〈石垣本部長〉



〈NUNEZ氏〉

[Session2] Presentation & Discussion Session

- 最初に外務省小林審議官よりご挨拶として、本セッションにて APEC 各都市における、気候変動へのレジリエンス促進に関する様々な優良事例をご紹介いただくことへの感謝と、外務省が今後も、この分野における協力を推進していく上で APEC 各地域に対する窓口を担っていくことが示されました。
- 続いて特別講演として、内閣府防災喜多参事官から、Asia-Pacific Ministerial Conference on Disaster Risk Reduction (APMCDRR) を通した、日本の防災対策の APEC 各地域への普及活動や、防災に対する技術や知識を持った人材の育成活動について紹介されました。
- チリ、インドネシア、マレーシア、ペルー、フィリピン、台湾、タイ、ベトナムから、気候変動に強い都市づくりへの取り組みの紹介があり、意見交換がなされました。



〈外務省小林審議官〉



〈内閣府防災喜多参事官〉

[Session3] Public Private Dialogue (Round Table Style)

- 国土交通省、自治体、企業から、気候変動に強い都市づくりに関する具体的な技術や取り組み事例が紹介されました。今回は3グループに分かれ、それぞれで異なるプレゼンテーションが行われる、「ラウンドテーブルスタイル」にて実施され、参加者はそれぞれが興味のある講演を選択して聴講しました。（登壇都市・企業：東急(株)、横浜市、日本道路建設業協会、(株)技研製作所、日本防災プラットフォーム、(株)Spectee、埼玉県、国際航業(株)）

[Session4] Closing Remarks

- 議長からの挨拶として、天河国土交通審議官より、本会議がAPEC地域の都市が抱える環境問題への対応における課題、優良事例、そして重要な要素について意見交換を行う素晴らしい機会となったことが共有されました。

2日目(視察)

新横浜公園

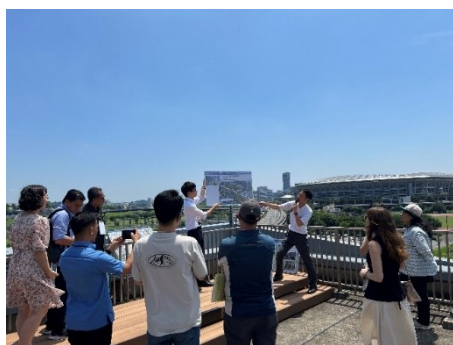
- 鶴見川流域での河川氾濫の防止、対応策について、河川や周辺施設を見学しました。

渋谷(駅周辺・地下雨水貯留施設)

- 渋谷駅周辺エリアの再開発について、地下と地上の移動を意識した都市づくりや、それに伴う地下部分の安全性の確保について、施設を見学しました。

東京臨海広域防災公園

- 首都直下地震等の大規模な災害発生時に「緊急災害現地対策本部」等が置かれる、防災拠点としての機能や、被災時の適切な行動や課題を学ぶことが出来る学習施設としての機能を見学しました。



〈新横浜公園〉



〈渋谷 地下雨水貯留施設〉



〈東京臨海広域防災公園〉